

語学留学報告書 (No.5)

2004/12/27

金沢工業大学大学院 機械工学専攻 中西伸行

Pacific Gateway International College の語学留学を開始してから約9ヶ月が経過しました。最近では辺りの景色が一層し、雪一面となりました。トロントでは時にマイナス30度となることもあり、冬の厳しさを痛感しています。

この度の語学留学報告書については、以下の内容について記載します。

<記載内容>

1. 語学学校
2. TOEIC スコア
3. 今後の予定
4. その他 (日本とカナダの就職活動の違い)

1. 語学学校

本学の語学学校は、以前にも述べましたように午後のクラスが選択制となっています。下記に示すクラスはその一部になります。時に生徒の人数の関係上、開講されない授業もありますが、他の学校に比べ選択できる授業が多くあります。しかし私の感想を述べると、一般的に下記の授業はビジネスを主体とした授業が多く、興味を頂くことができなかつたことが多々ありました。

- **Language Skills:** Reading Skills, Writing Skills, Current Event etc.
- **Life and Business Skills:** Assertiveness Skills, Social Issues, Business Negotiation Skills etc.

私の友人で本学を卒業し、大学が主催する6ヶ月の特別講義に参加している友人がいます。ここでは、コンピュータ関連の授業等のビジネスとは違った専門分野を勉強することができます。

1年間の語学留学を有意義に過ごす方法として、6ヶ月間は語学学校、残り6ヶ月は大学が主催する特別講義といった勉強をするのも語学留学を充実させる1つではないかと感じました。

2. TOEIC スコア

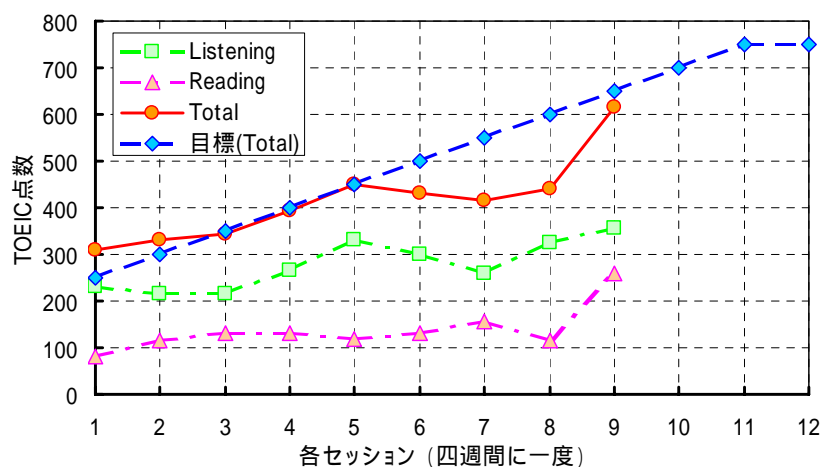


図1 TOEIC スコア

図1に、9セッションのTOEICテストの結果を追加したグラフを示します。10セッションの

TOEIC テストについてもすでに受験したのですが、結果報告が年明けとなるため9セッションのみを示します。

今回の結果では、長いスランプから抜け出すことができ、以前に比べ良い結果を示すことができました。しかし Listening、Reading 共に正しく理解しているのではなく、たぶんこれが正解ではないかといった理解力であるため、今後さらに勉強する必要があると感じています。

図2 に示す Reference Library では TOEIC テストの問題集が完備されており、TOEIC の勉強をする上で活用しています。またトロント大学の Robarts Library は夜の 11 時まで使用することができます。今後もこのような施設を利用し、語学留学を有意義なものにしたいと思います。なお当初の語学留学スケジュールは、1 月下旬までの滞在としていたのですが、英語習得が思っていた以上に難しいこと、また今後このような語学留学が行えないと考え、滞在期間を 1 ヶ月を延長することとしました。



Reference Library



Robarts Library (University of Toronto)



図2 図書館

3. 今後の予定

語学留学の目的でも挙げていました、車の展示場や車会社の工場見学等が行えるように現在、調査を行っています。下記に示す Auto Show では東京モーターショーのような国際的な車の展示会になります。また私の知り合いの知人がトロントにある Honda の工場に働いているとのことから、工場見学ができないか問い合わせさせて頂いています。次回の報告書ではこれらのことについて報告できたらと思います。

Auto Show: 2 月下旬に開催される国際的な車の展示会 (<http://www.autoshow.ca/2005/default.asp>)

Blue Sky Solar: トロント大学のソーラーカーチーム (<http://www.blueskysolar.utoronto.ca/>)

Honda Canada: トロントに所在する Honda 工場 (<http://www.honda.ca/>)

4. その他 (日本とカナダの就職活動の違い)

日本では、現在就職活動が本格化してきていると思います。私の方でも帰国後の就職活動をどのように進めていくべきかを検討しています。しかしカナダではこのような日本の就職活動といった形式はなく、学校を卒業後 2、3 ヶ月、長い人で 1 年間の旅行に出かけ、その後就職活動をするのが一般的であるようです。どちらのシステムが良いのかは決めかねますが、カナダでの生活をする中で、日本の常識はカナダでの常識ではないといったことを肌で感じました。